

地域再生&創生

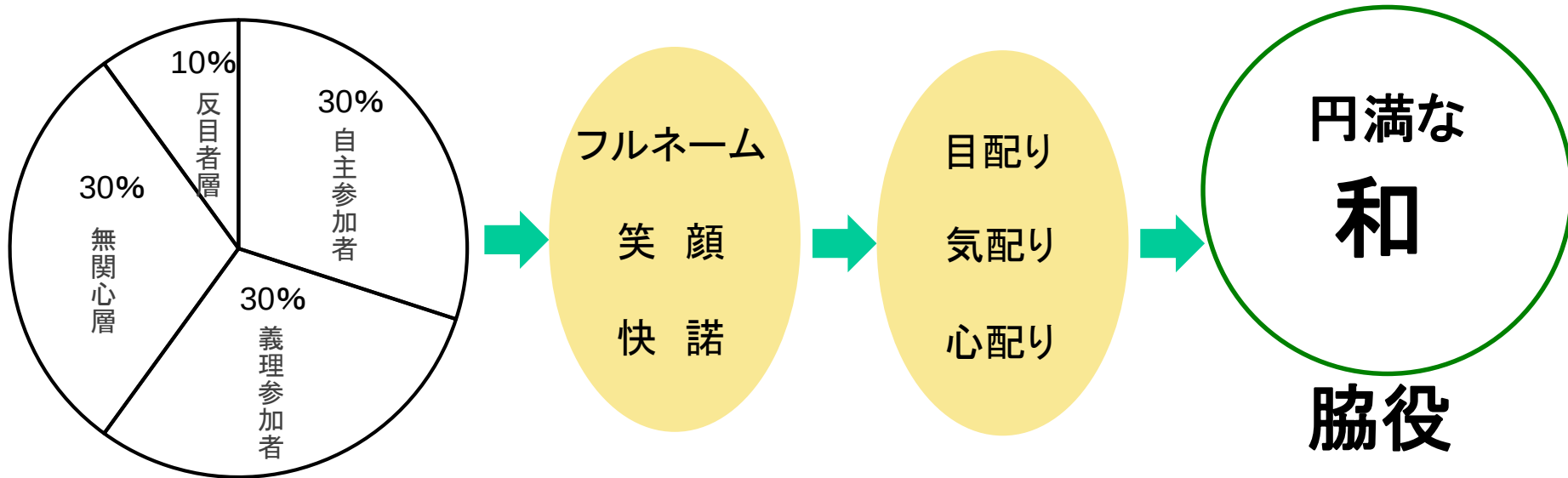
～行政に頼らない感動の地域づくり～

鹿児島県

鹿屋市 柳谷町内会（やねだん）

土台づくり

(3・3・3・1=10 の方程式)



- 企業会計原則（人財・帳簿(数字で語る)・総力戦・納税）
- リーダー不可欠
～リーダーの前に先ず人間力～ ヒーローにならなくていい。黒子でいい
- 地域活動に補欠はいない。
～1人で頑張らなくていい。才能を引き出せばいい～
- 地域課題を正面突破するには
～あわてるな、急ぐな、近道するな、の忍耐力・企画力・演出力・財務力～

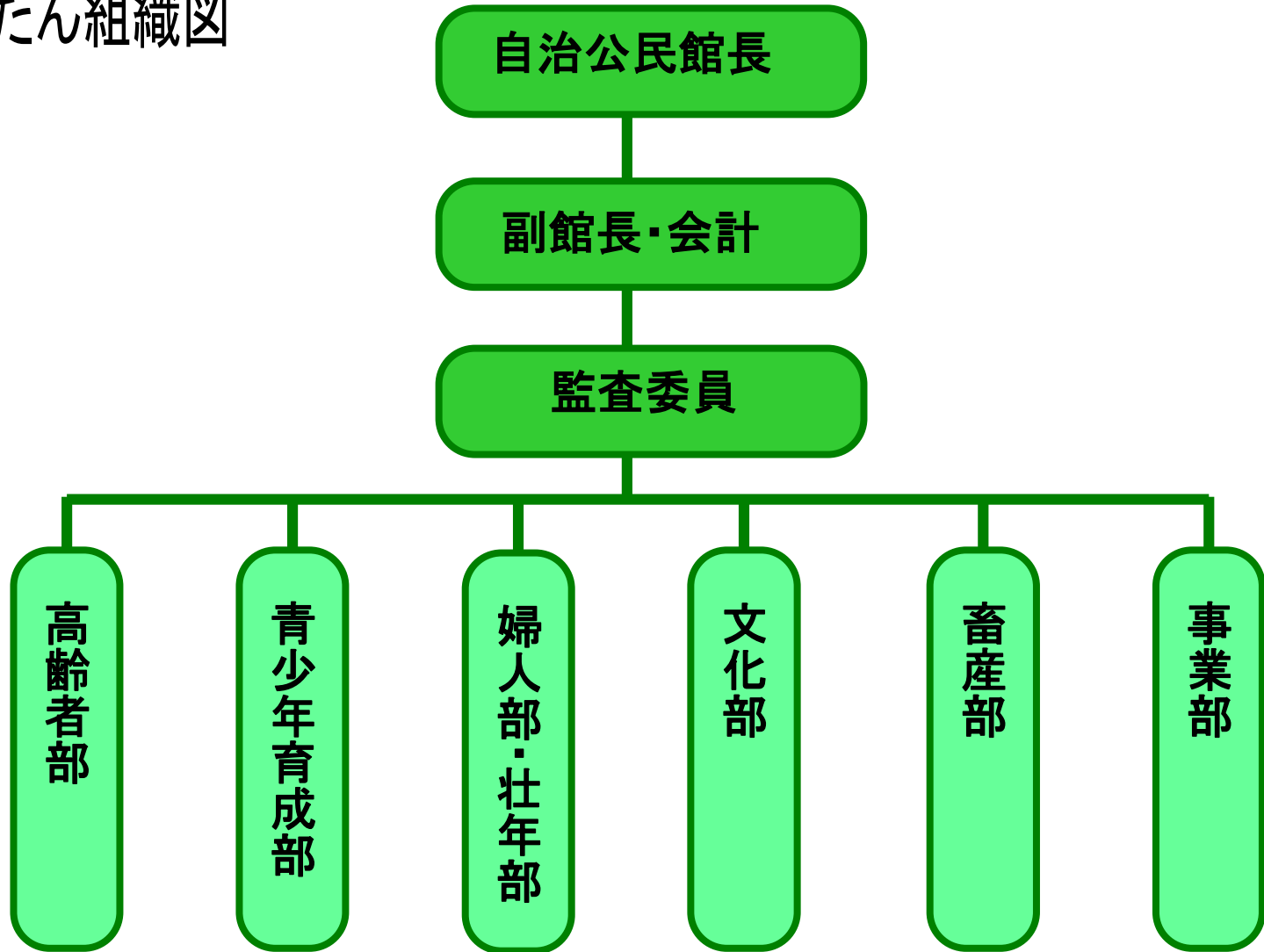
1 . 住 民 自 治

1 . 自 主 財 源 確 保

1 . 還 元

感動の『むら』おこし ～柳谷の底力～

やねだん組織図





わくわく運動遊園 全景



わくわく運動遊園建設

平成14年7月12日 記事

地域再生へ ～柳谷集落の挑戦～

補助金頼らぬ地域興し

資金はカライモでねん出



サツマイモ栽培

(14. 7月3)

まちの話題

一町歩のからいも植え

なんと3時間で終了!

柳谷集落民会議



100名が参加したからいもの植え付け

柳谷集落民会議(豊重哲郎議長)では6月9日、約100名(小・中・高生を含む)の集落民が自主的に参加して、からいもの植え付けを行いました。

昨年までの3反歩(30アール)の生産活動を、今年は福元健哉さん所有の無償提供の畑をはじめ、苗の提供者、トラクター出

動者の協力もあり、面積を一町歩(100アール)に増やしました。当日は、参加者が多く、なんと3時間で植え付けが終了しました。

益金は、土着菌センターの運営資金や高齢者の緊急警報装置、そして青少年の活動資金として充てられる予定です。



からいも生産活動



からいも植え付け

串良町 ・ 柳谷集落が一丸で



土着菌センター内で完成した菌を住民に配布

また、各家庭に設置されている生ごみ処理用のコンポストでは、土着菌を混ぜて堆肥化。自家菜園に活用することで集落外への生ごみの排出をなくしている。

飼料に混ぜて与えると、ふんの悪臭が消え、子牛が下痢をしなくなった。堆肥にふりかけるとハエの発生も少なくなりました。」と話す、同集落の生産農家・吉留さん。同様に、犬や猫などペットに与えている家庭でも土着菌の効果があるという。

家畜のふん尿を外部に出さず、管理施設での処理が義務づけられる「家畜排せつ物処理法」。完全施工を三年後に控えて早急な対策が求められる中、柳谷集落では、集落ぐるみで環境対策に乗り出した。これは、土着菌を利用し、生ごみの堆肥化や家畜の排せつ物処理などを行う取り組みだ。

出来上がった土着菌を集落内の全家畜に与え、ふん尿の無臭化を図っている。糖分を加えているため、嗜好性も良いと言う。

飼料に混ぜて給与
子牛の下痢の減少にも



各家庭に設置されている生ごみ用コンポスト

土着菌利用し
においを低減

家畜ふん尿の悪臭対策



土着菌製造作業



上：土着菌動機作業



左上下：土着菌を畑に拡散

～土着菌の効果～

土着菌使用



土着菌無使用



焼酎『やねだん』発表会 集落全体でのパレード(左)



焼酎『やねだん』 (右)



唐辛子を活用した新たな「やねだん」ブランド



とうがらし粉

고추

やねだん
柳谷

中辛

甘辛

韓国唐辛子 無農薬 産

やねだん産

名称	唐辛子粉	原材料名	唐辛子 鹿児島県産
内容量	500g	賞味期限	枠外下部に記載
保存方法	直射日光、高温多湿を避けて保存して下さい。		
販売者	やねだん自治公民館長 豊重哲郎 鹿児島県鹿屋市串良町上小原 4964-2 tel 0994-63-1731 fax 0994-63-1732		

賞味期限
未開封

唐辛子・黒豚

エネルギー カレー

鹿屋市 やねだんで、
無農薬栽培された
韓国唐辛子と黒豚を使用した
エネルギーカレー。

やねだん
柳谷

J's
GOLF & RESORT

韓国国旗

握手

日本国旗

試料名称	レトルトカレー	賞味期限	
名称	唐辛子黒豚エネルギーカレー		
原材料名	唐辛子・黒豚鹿児島県産	内容量	180g
保存方法	直射日光、高温多湿を避けて保存して下さい。		
製造者	Hello さつま TEL0996-52-3312 鹿児島県薩摩郡さつま町柏原 558-5		
販売者	ジェイズ北郷リゾート(株) TEL0987-55-3333 宮崎県日南市北郷町郷之原甲 2821-1		
発売者	やねだん(柳谷町内会)代表 豊重哲郎 TEL0994-63-1731 鹿児島県鹿屋市串良町上小原 4964-2		

やる気をおこせば

必ず『きせき』が起きる

～子どもの発達～

0～ 7才 — 感覚・意志力・義理人情

8～14才 — 感情を育む

15～20才 — 思考力・判断力

※ 0～10才 — gang age(集団で行動)



柳谷高校生クラブ結成会



高校生による『バナナのたたき売り』

～十五夜にて～

異郷の子からメッセーじ

[illegible]

父の日 高校生が有線放送

[illegible][illegible]

娘のような、友人のような、特にリヤ様のような、本心に偉大なる人です。
 あな方は、一週目の日曜日、大阪府高槻市黒川町、橘谷集落の縁から、電
 鉄の駅で送られた町で育ち、今は市川と暮らす木田京樹さん（七ノ舞真上）、左田
 が、一人暮らしの母、菊岡主さん（八ノ舞真上）に育てられた子育ち、白鳥が家族を
 持ち、子育てをして、娘として母への感謝の気持ち、白毛で磨いていた子育ちの
 想い、しむくらもになった。
 （井中さゆり）

子育てで知った苦勞

ふたは、行状から推して、津路に便する集落の麻糬屋の目、望の目、第七の日に、吉車を縫って豊ら子供達の手紙を敬送し始めて、口元にある、輝まれた手紙は、より進んで、今年が卒業と聞かると、も道断せられた。

午前四時半、連立の高校生が雨の雨あがりに、力から離れた、い吉日が、卒業さんの手紙だ、

た、ふさふさとした根に隠びかけた。

奥歯がすり減ると、いの歯をかみ締め、おはなは、その小泣き妹のため、おはなを、たまた一人で抱きかかえ、狂えるほど脱線とさか向かい、私たちをささぐてくれた。

フキさんは出陣、腹を、今の義母を養育するから、一週一人で京都から、果敢に引つ返した。憎れた。

海に土地の半部、80
 には、夫が頭領で、側
 には、酋長で、酋長の臣民を
 しながら、大に入居する
 山に、山頂に、山頂に、
 達や酋長、夫が酋長
 した。

「それにも一私のお腹を
持し、子供をしろけ。あ
なたが一番苦しかった頃
の妊娠と云いました。少
しでもあなたに近づい
よう、少しでもおねがひ出
れば……ななで、おあ
れ多い」

「千代は、娘さん
の千代が産まれることを
知らされていなかった。
彼を産む、一瞬がけ
けにその間に……」

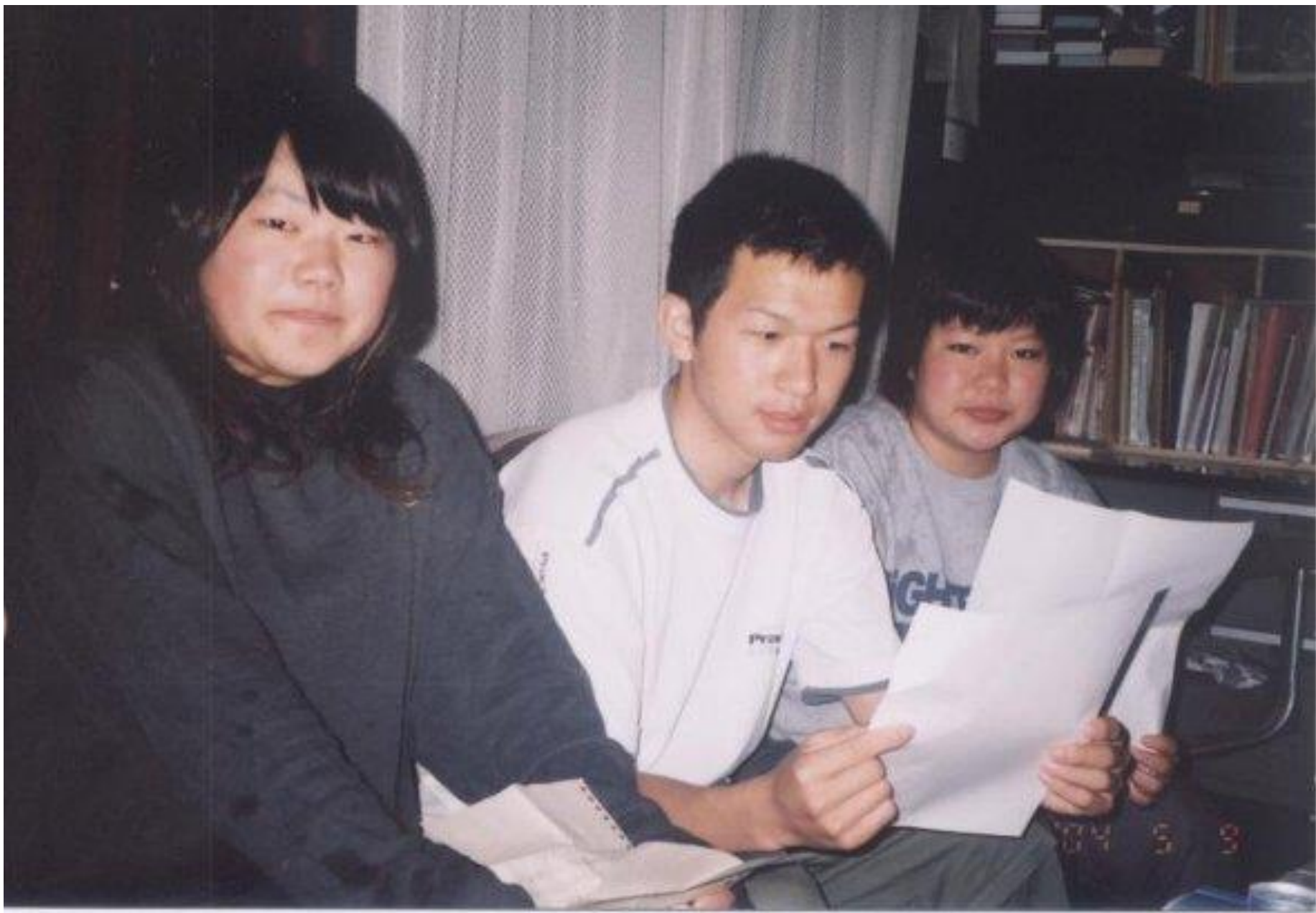
彼が後、腹された千代
を産む返す、また子が
あふれた。「おんなく
ちかれ（悪い）千代も、
自分の子供が、誰かわい

あなたに近づきたい……

東京⇩故郷 鹿屋・柳谷

胸かはじけそつに……





高校生によるメッセージ放送



地域のこども達による 棒踊り

サンセットウォーキング大会



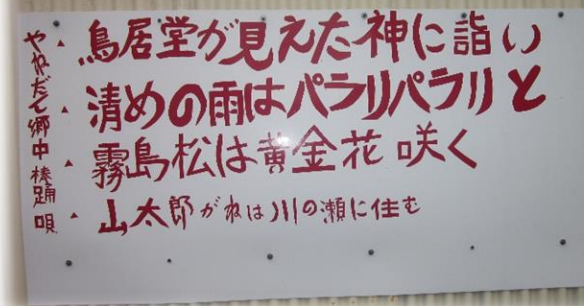
ミッドナイトウォーキング大会
垂水道の駅～やねだん 46km



～子ども達の手づくり看板～



フラワーロード

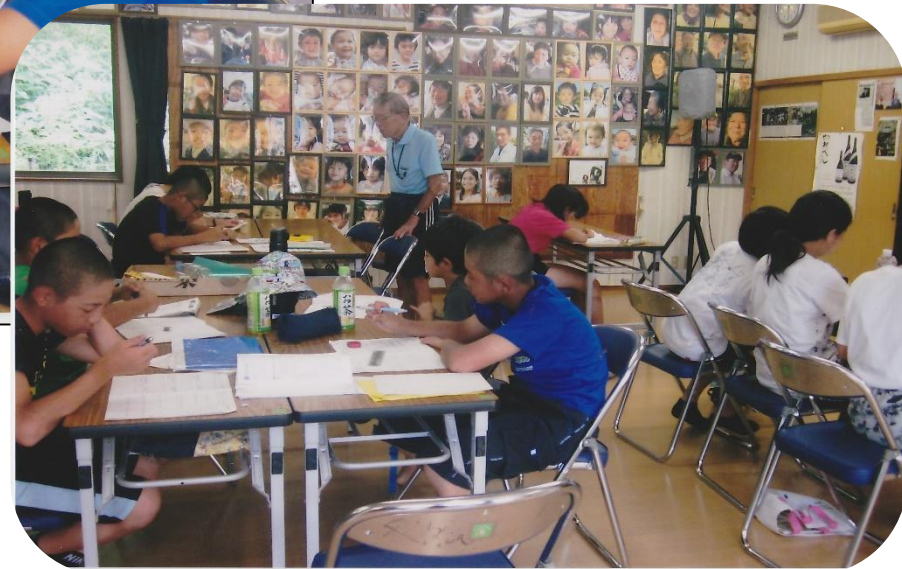
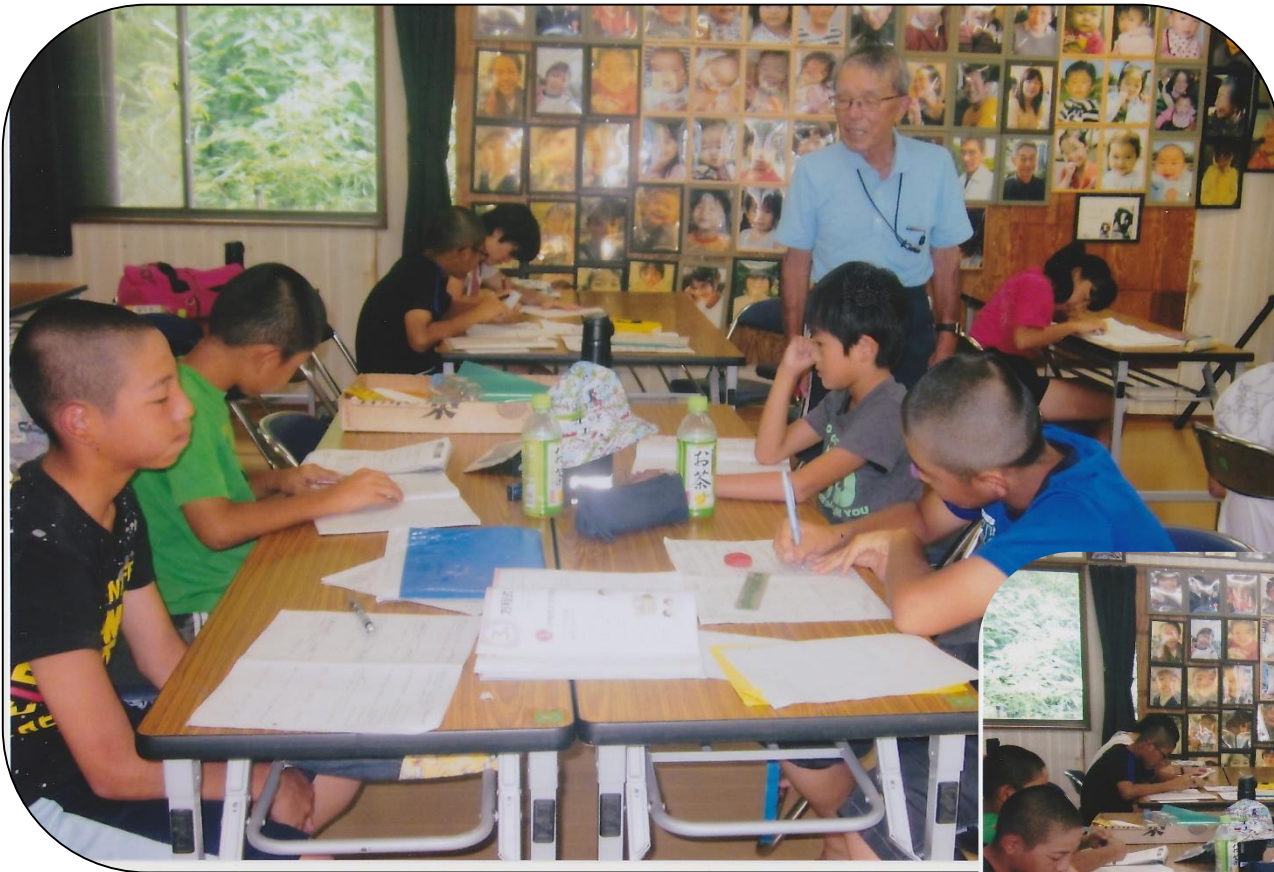


棒おどりの歌

～小学校の夏休みのメッセージ放送～
2018年8月27日～30日



～ 寺子屋①（学習）～



Uターンはじまる！ 小学生12人・幼児15人

～2018年4月現在～

～寺子屋②～

(集団ピアノ教室)



53年ぶりの復活!! 鬼火焚き





柳谷住民にボーナス1万円 ～記念式典より～

まさかの時の
「緊急警報装置」(介護・防犯)



シルバーカート貸与

わくわく運動遊園内(健康遊具)





85歳以上の高齢者に
毎年1万円ボーナス支給

野口フサエ殿 90才

高齢者 ボーナス 金 10,000 円

これからも、「やねだん」で、
ずっと ずっと楽しんでください。

平成 25年5月3日 鹿屋市 郷谷町内会

高齢者に『ころばん体操』



～古民家を迎賓館に～



迎賓館 第1号館



迎賓館 第2号館



迎賓館 第3号館

迎賓館 5号館 ～牛小屋を美術館に～



迎賓館 8号館

『やねだん』故郷創世塾

第1期 塾生 平成19年11月



第24期 やねだん故郷創世塾
平成30年11月2日～5日

やねだん塾千人超す

鹿屋市串良町上小原の柳谷町内会、通称「やねだん」が年2回開く故郷創世塾の塾生が、11月初旬の回で延べ千人を超えた。町内会長の豊重哲郎さん(77)が、地域再生の核となる「人徳あるリーダー」を養成しようと続けて12年目。やねだんで刺激を受けた「と全国から集まる塾生たちが、担い手の決意を新たにしている。

鹿屋 再生ノウハウ学ば

創世塾は2007年に始まった。5月と11月、3泊4日の日程で開講。県内外の自治体職員ら平均50人が訪れる。遠くは北海道からも。塾長の豊重さんや卒業塾生らを講師に、やねだんの自主財源をつくる活動やリーダーの心構えを学ぶ。空き家に寝泊まりし、住民との交流も深める。塾生を下の名前で呼び、話すときは目をそらさない。相手の心をつかむ豊重さんの講義に塾生は感動し、リーダーの資質を肌で感じる様子だ。



地域のリーダー育て12年目

豊重さんは「わずかな間にみんな顔つきが変わり、人徳を高めた」という一つの方向へ向いていく」と話す。24回目となる11月2～5日に参加した十島村の本砥貴子さん(43)は「地域の将来を次世代へつなぐ塾長の思いが胸に落ちた。体験を仕事に活かしたい」。鹿屋市の団体職員福岡則幸さん(58)は「人を動かすには自分が動かないといけない。守りに入りがちな世代なので、攻めの大切さを再認識した」と語った。塾生は今回で大台を突破し、1034人が巣立った。豊重さんは「マンネリにならず刺激を与えられるよう、に学び成長しながら、やねだんも進化させたい」と先を見据える (黒田昌平)

塾生の発表を見守る豊重哲郎さん(左)

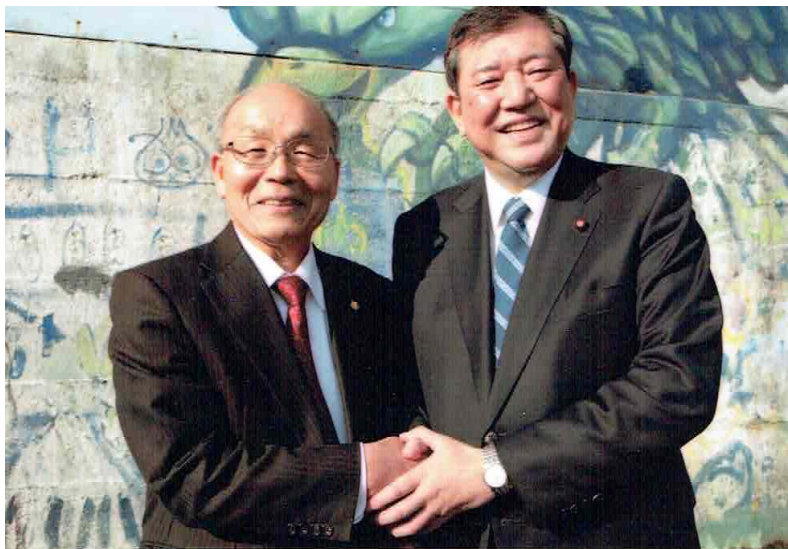
＝鹿屋市串良町上小原

「地域再生」リーダーへの一言提言

- 一、すぐれた人財は、社会の財産（人徳養成）
- 一、3歩進んで2歩下がる（フォロー）
- 一、慌てるな、急ぐな、近道をするな（土台づくり）
- 一、リーダーはそれ相当の犠牲を払わなければならない（忍耐力・経済力）
- 一、ヒーローにならなくていい、黒子でいい（天狗になるな）
- 一、感動と感謝、目配り、気配り、心配り（情熱の人）



プラチナ構想ネットワーク事務局長
小宮山 宏 氏と



石破 茂 地方創生担当相 やねだんに来訪
2015年1月24日～25日



小泉 進次郎内閣府政務官 やねだんに来訪
2015年8月1日～2日

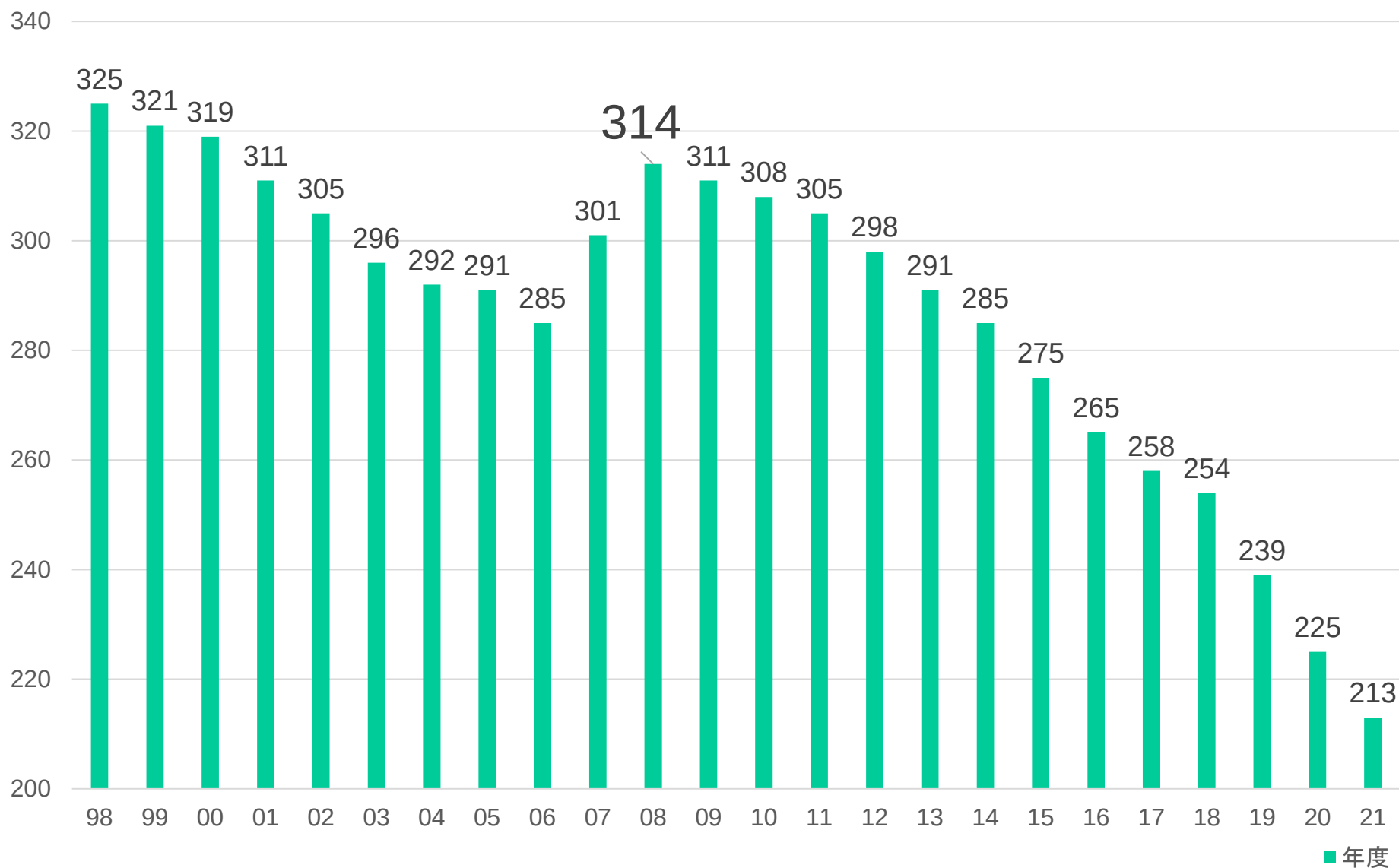


総務大臣政務官 小倉将信 やねだんに来訪
2018年5月2日



三反園 訓 鹿児島県知事 やねだんご来訪記念
平成30年1月12日
鹿児島県知事 三反園 訓 やねだんに来訪
2018年1月12日

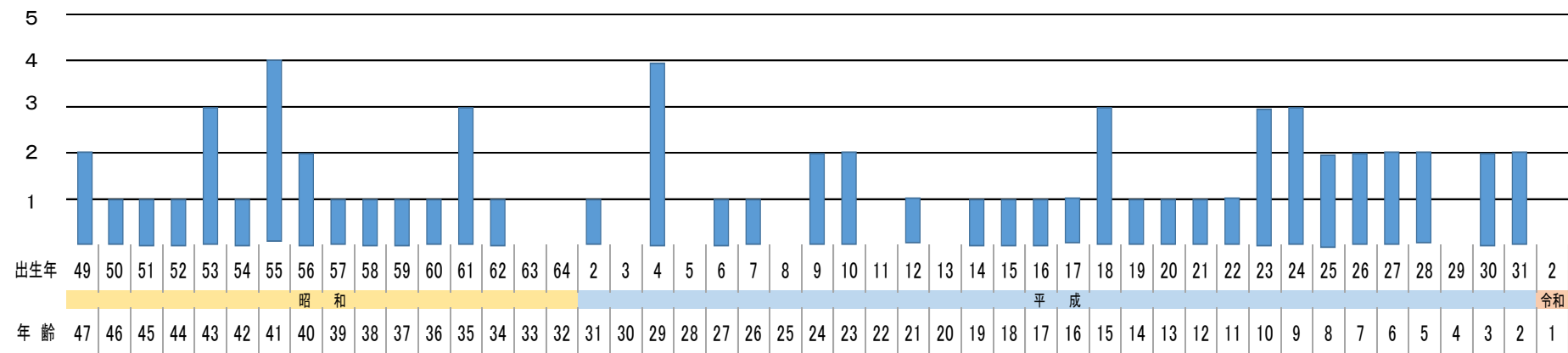
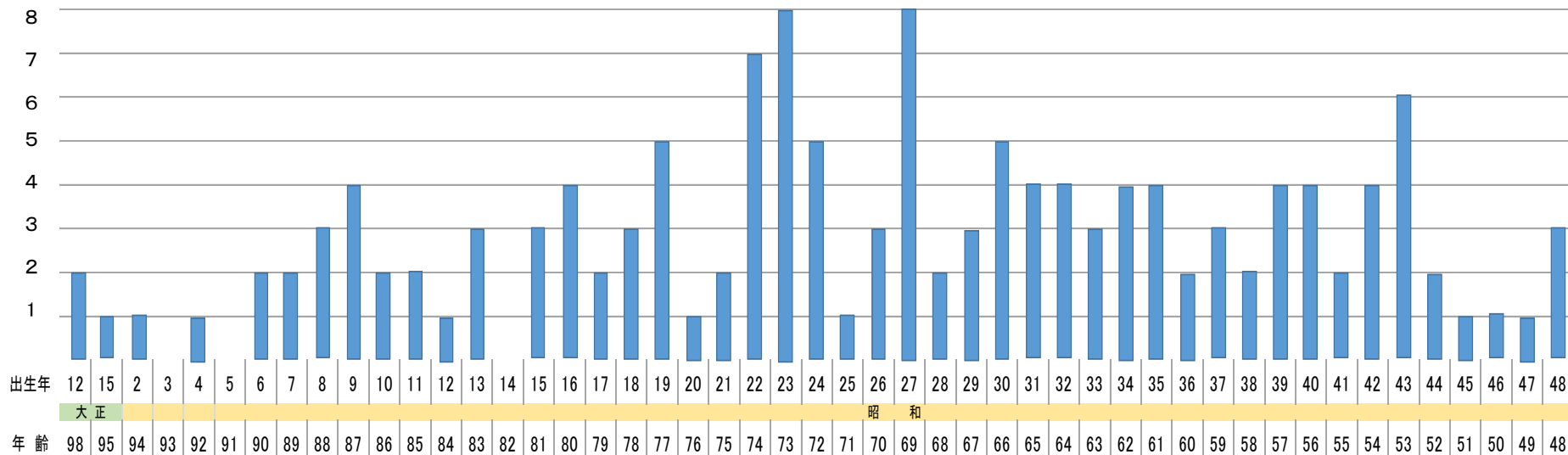
やねだん 人口推移



やねだん人口分布図

～令和3年1月1日現在～

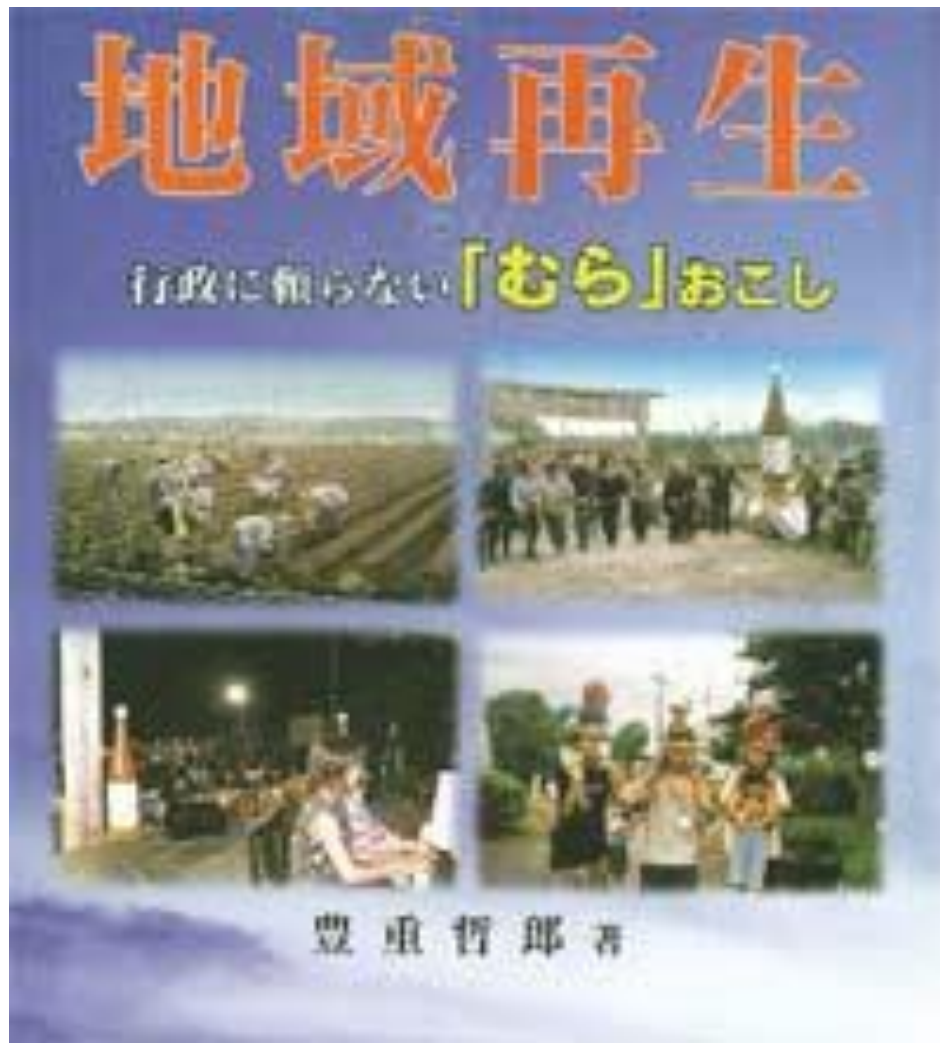
集落機能維持のためには？ 人口の10%位を少子(0才～14才)



地域再生

- 円満な『和』を基本に 先人たちの偉業を称え先輩の心を敬い、感動と感謝の活動。
- ビジネス感覚と地域経営学を共有し、情熱で人を動かす。
- 人間は誰でも社会に貢献できる力を与えられている。（もったいな～い！！）
- リーダーよ！覚悟しろ！！
- まだまだ、地域活性化には行政依存が必要であり、行政に大いなるエールを贈りたい。

～ 著 書 紹 介 ～



池上氏との対談



E-mail toyoshige@mail.yanedan.com

U R L <http://www.yanedan.com/>

地域再生の夢を紡ぐ

鹿屋市串良町上小原の柳谷集落、通称やねだん。オリジナル焼酎や土着菌堆肥、唐辛子栽培で自主財源をつくり補助金に頼らず限界集落を再生した。リーダーは23年間、町内会長を務める豊重哲郎さん(77)。集落の活動を見回るとき、いつも今村利郎さん(51)が付き添う。安心してバトンタッチできる」と豊重さんが信頼を寄せる後継者だ。

2人の関係は長い。豊重さんは今村さんが所属していた中学校のバレーボール部を指導していた。父親より怖かった。でも、面倒見がよく父親のように大切な人になった」と今村さん。豊重さんは利郎は人が寄ってくるタイプ。責任感も強い」と目をかけていた。

今村さんは若いころ県外へ出たが、Uターン。子ども会育成会長や校区体育協会長を経験し、豊重さんを補佐した。協力的でない住民も和に取り込み、集落を一つの方向にまとめる。人を動かすには、自分が動かないといけない」。先頭に立って汗をかく豊重さんの背中から、リーダーの心構えを教わった。

ただ、その背中は大きい。やねだんの顔、豊重さんに学ぼうと視察は全国から年間6千人を超える。住民自治や自主財源確保の仕組みが軌道に乗り、レールは安泰とはいえ、今村さんは後継の荷は重い」と明かす。



親子のような豊重哲郎さん(左)と今村利郎さん
＝鹿屋市串良町上小原

勤務する会社での立場や妻子を養う事情もあり、バトンを受ける決断は少し先になりそうだった。一方で、夢もある。やねだんブランドの鶏卵を生産して財源を強化。回遊性の高い集落に向けハード整備にも取り組み、経済活動に限らない新しいやねだん」を模索する。豊重さんはどんなリーダーも老害は出る。俺を踏み台に思い切りやってほしい」と背中を押す。

(南日本新聞社鹿屋総局・黒田昌平)

18年度総務省ふるさとづくり大賞

最優秀に豊重さん

やねだん
公民館長

焼酎開発、リーダー育成

総務省は21日、地域の活性化に貢献した団体や個人に贈る2018年度「ふるさとづくり大賞」を発表した。最優秀賞（総理大臣賞）は「やねだん」の通称で知られる鹿屋市の柳谷集落で公民館長を務める豊重哲郎さん（77）が受賞。小浜市阿納体験民宿組合（福井県）など24団体と個人3人が優秀賞などに選ばれた。



豊重さんは高齢化が進む集落で、行政に頼らず住民一体となった地域づくりを展開。遊休地で栽培したサツマイモを使ったオリジナル焼酎の開発や、地域再生に向けたリーダーの育成に注力した点などが評価された。

豊重さんは住民の協働あつてこそ地域づくり。私は代表で表彰されるだけ。ともに汗を流した亡き先人や住民に感謝したい」と話した。表彰式は2月4日に東京都内で開催する。これに加え、総理大臣賞だけを対象にした表彰式も3月に行われる。

平成30年度ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞 受賞



表彰式 平成31年3月13日(水) 総理大臣官邸 (総理官邸ホームページより)

平成30年度ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞 受賞 心よりお喜び申し上げます。

総理大臣 挨拶（一部割愛）

「この度、内閣総理大臣賞を受賞された豊重哲朗様、（一部割愛）心からお祝いを申し上げます。
まず、豊重様におかれては、鹿児島県鹿屋市の柳谷集落、通称やねだんにおいて、23年にわたり、行政に頼らない村興しを掲げて、オリジナル焼酎の開発を成功させたほか、やねだん故郷（ふるさと）創世塾を主宰され、今や1,000人を超える卒業生が全国で活躍されていると伺いました。

（一部割愛）

皆様の活動は、ふるさとを愛する気持ちにあふれた、素晴らしいものと感じました。ふるさとを愛する気持ちを育み、誇りあるふるさとをつくる、この精神こそ、魅力ある地方を創世する力の源泉です。

政府としては、引き続き、ふるさとづくりを力強く後押ししてまいりますので、皆様方にも、なお一層御活躍いただきますことをご期待申し上げまして、お祝いの御挨拶とさせていただきます。

おめでとうございます。」

（総理官邸ホームページより）



コロナ渦中、だから

Time is Now = ときは今
What a Wonderful World !!

すばらしい世界を!!

= 危険な古民家撤去の利活用 =



解体後はミニランド場に



屋外の集落民憩いの場



瓦(カワラ)は花壇の縁石に

～ 空き家のスーパーをギャラリーに ～



集落民の憩いの場に活用

～ 2020年 東京オリンピック 聖火ランナー出走！ ～





笑って集って、健康寿命にトライ！

